



唐津の知られざる歴史探訪

神功皇后の伝説と万葉集にも歌われた島

神集島

かしわじま



佐賀県北西部、玄界灘は唐津(からつ)湾の湾口にある島。面積は一・四キロm、唐津市に属する。地形は南西部の最高所八十五m地点から北へなだらかに傾斜した台地状で、その北岸から西方へ防波堤のように真っすぐ伸びた砂嘴(さし)が特徴的。

島全体が玄海(げんかい)国定公園に含まれ、アジ・サバを中心にエビ・ハマチなどが豊富な漁場を成している。島名は神功(じんぐう)皇后が三韓征伐の戦勝を祈願し、神々を集めたという伝説に由来する。



子供の頃、夏になると湊地区にある相賀(おうか)の浜に、家族でよく遊びに出かけていた。唐津で一番綺麗なこの白い砂浜からは、北方に浮かぶ台形の島が遠目に見える。父がその島を指さしながら、「あれが軍艦島っていう島だよ」と教えてくれたシーンはいまも忘れられない。軍艦島といえば長崎だが、私の記憶では、この神集島こそが軍艦島であり、懐かしい思い出でもある。そこでこのたび、唐津の歴史をたどってみたいところ、遠い昔、この島が重要な役割を果たした史実が垣間見えてきた――。

神集島と神功皇后の深い縁

日本書紀によると二、三世紀当時、急死した夫の仲哀天皇に代わって政事を執った神功皇后は、三韓征伐に乗り出した。その際、拠点として停泊したのがこの神集島。万葉集のなかには、のちの奈良時代の大和朝廷の遣新羅使がここに船宿りし、歌った歌が七首収められている。

時代を経たのち、八幡宇佐宮御宣託集には「神功皇后が松浦の沖にて甲衆を集めて饗宴を給う処を神集島といふ」と、また松浦古事記には「神集島という名は神功皇后が朝鮮出兵のおり、この島を訪れ、先勝祈願のための軍神たちを集めたことに由来する」とあり、そのことから、遅くとも江戸時代には神功皇后の伝説を讃えて、神が集まった島、つまり神集島と呼ばれるようになったと伝えられてきた。

住吉神社と弓張山のものがたり

島の西部、砂嘴の先端にあるのが住吉三神を祭る住吉神社。社伝によると、「本殿は、神功皇后が朝鮮出兵時にしばらく滞在され、諸神を集めて千珠と満珠の二宝を納められた神社である」という。住吉三神とは、神功皇后が神から「三つの神々を祀って三韓を征伐せよ」と託された三神のことである。

神集島の住吉神社は、もともと南西部の弓張山(ゆんばりやま)にあり、現在地に遷座されたのは元禄七(一六四九)年。弓張山とは、神功皇后が島に滞在しているとき、



底筒男命、中筒男命、表筒男命の三神を祀る住吉神社は現在全国に約2100社存在している。

夢の中に神々が現れ、「岩コツ」あるいは「兜鼻(かぶとばな)」という島の南西端から朝鮮に向かって弓を張ったことで弓張山と名づけられたそうだ。

神集島の伝説には、あるとき鬼がこの島にやってきて、住吉大明神に「石で鬼の窟をつくらせてくれ」と頼んだところ、住吉大明神はその交換条件として鬼に突堤(砂嘴)を造らせたという話や、神功皇后の朝鮮出兵に必要な港を住吉大明神が造り始めると鶏が鳴き始め、これは不吉だと工事は中止、その後島では鶏を飼うことがタブーとなった話などがある。

いずれにせよ、弓張山にあった住吉神社が、神集島がその歴史を刻むなかで中心的な存在であったことは確かであろう。

高祖山と神功皇后の出産

神功皇后は三韓征伐へ渡航中に産気づくと石を腰に巻いて耐え、帰国後に宇美(福岡県糟屋郡宇美町)で出産したと伝えられている。だが時系列をたどると、出産したのはこの神集島ではないか、という説を唱える研究者もいる。

というのも、島のほぼ真ん中、丸尾山の集落内には、神功皇后に仕えた大臣・武内宿禰の陣営跡とされる「コソヤヤマ」、すなわち高祖山という地があり、そこには高祖川、あるいは子濯川(こすすぎがわ)と呼ばれる井戸が遺っている。実は神功皇后がのちの応神天皇を出産したとき、この井戸の水で臍(へそ)の緒を洗ったことから子濯川と呼ばれているのではないかと、という伝承が残されていることもその理由である。



神功皇后が出産後にお休みになられた場所と、子濯川跡地に建てられた記念碑がいまも建つ。



『太宰官内志』によると、「天平八(七三六)年六月、新羅国に派遣される使節たちは、肥前松浦郡柏島の亭に船泊の夜、はるかに海浪を望み、歌七種を作る」とあり、その歌は『万葉集』にも収録されている。その七つの歌碑が一九九四年に島の各所に建てられ、以来「万葉ウォーク」が毎年開催されている。

いつの時代も家族や恋人に馳せる気持ちは変わらぬ

万葉集に込められた想い



1 帰り来て見むと思ひし我が宿の秋萩すすき散りにけむかも

秋には帰る予定だったので、妻と一緒に我が家の秋萩や芒を見ようと思っていたのに、まだ旅の途中なのが悲しい。もう我が家の秋萩や芒は、散ってしまっただろうか。



2 あしひきの山飛び越ゆる鴈がねは都に行かば妹に逢ひて来ね

秋になって雁が渡っています。雁よ、お願いだから筑紫の山を越えて都に行ったら、恋しい妻に今の私の気持ちを伝えてほしい。



4 足日女御船泊てけむ松浦の海妹が待つべき月は経につつ

神功皇后が新羅と戦った時、ここは船泊りされた松浦の海。こんな遠い地にきてしまいました。都では妻が私の帰りを待っているでしょうに、月日だけがいたずらに流れていきます。



6 旅なれば思ひ絶えてもありつれど家にある妹し思ひ悲しも

旅に出ているのだから、あきらめていたのですが、それでも家に残っている妻のことが恋しく想われてなりません。



3 天地の神を祈ひつつ我れ待たむ早来ませ君待たば苦しも

私は天地の神に祈って、あなたが帰ってくるのを待ちましょう。早く帰って来て下さい。長く待つのは苦しいものですから。



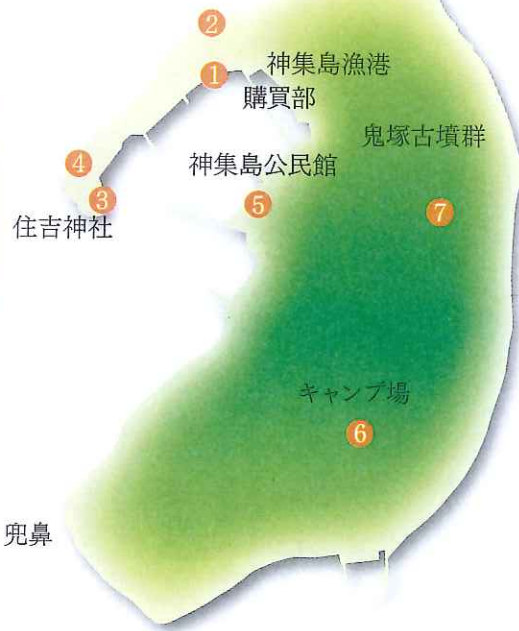
5 君を思ひ我が恋ひまくはあらたまの立つ月ごとに避くる日もあらじ

あなたを想う私の恋心は、月日がめぐっても一日も例外はありません。いつも想っているのです。



7 秋の夜を長みにかあらむなぞこば寐の寝らえぬもひとり寝ればか

秋の夜が長いからか、どうしてこんなに寝ることが出来ないのでしょうか。きっと一人でねているからでしょうね。



兜鼻



古代ロマン 島集神漂う

いにしえの暮らしが随所に息づく

「特産品」を味わって、**パワースポット**を巡ろう！

神功皇后による三韓征伐の拠点となった伝説の島、神集島。以来ここには韓国との深い交流の賜物と、島民の安寧を祈る熱き信仰が息も絶えぬ息づいてる。

いまではハレの日の料理！
手間暇かけて作る「石割豆腐」

十六世紀、秀吉による朝鮮出兵の際に兵糧奉行が持ち帰った豆腐がこれ。その際に伝わった作り方は、まず水に浸した半ナマ状態の大豆つぶして豆乳を作る。それに海水から作る天然のながり混せて固め、重石でしっかり時間をかけてこれ以上出ないというほど水を切って固めるのがポイントだそう。

弾力性に富む半面、石に落とすと石の方が割れるほど硬いのが特徴で、江戸時代には近所におすそ分けするときに、震で組んだ紐で十文字

に縛って子供たちに持たせていたほど。当時は冷蔵庫がなく、食べ物を保存する方法がなかった。そこで日持ちさせるために水気が少ない硬い豆腐が作られたのではないかと言われている。食感はどういうふうになるか、ほのかに磯の香りがする。現在は漁港婦人会の若潮会が製造を担当しているが、作るのに手間暇がかかるため、島では盆正月、冠婚葬祭に欠かせない最上級のハレの日の料理とされている。島の購買部で購入可能だ。

EVENT情報

神集島 島ピクニック

日時: 2018年7月21日(土) 10:00～
内容: 島のお母さんたちが作ったお弁当を食べ、島を自由に散策する
お弁当は限定100食(要予約)
予約先: 080-6119-8388(高崎)
当日、祇園祭の曳山曳き体験、愉快的なガイド付きツアー、自転車・釣り竿レンタル、遊覧船などの体験が楽しめます



ほかにもぜひ堪能したいのが、アワビ、サザエ、ウニといった贅沢な貝類。暖流の対馬海流が海峡に流れ込み、世界有数の漁場として名高い玄界灘で獲れるだけに、その味の豊潤さも最上級。刺身でよし、踊り焼きでもよし、もちろん酒の肴にもよし。手頃な価格で海の幸を存分に楽しめるのも神集島ならではのグルメだ。

今日につながる島の歴史に触れてみよう！

● 鯨恵比須



昭和中期頃までは年に二、三回鯨が取れたという神集島。当時は島の貴重な商品となり、大きな海の恵みであった。捕鯨の際の不慮の事故の供養のため、明治二十八年に建立されたのがこの鯨恵比須。いまも「鯨ん神さん」と呼ばれて親しまれている。

● 岩本三吉石碑



神集島の中興の祖。定置網からの転換を提唱し、底引き網の一種である大敷網の組合を設立、神集島を基地として五島、対馬、韓国沖でアジやサバを漁獲した。昭和二十六年には唐津中央魚市場を創設し、社長として指揮をとったことから漁村の暮らし向きが楽になったと称えられている。

● 住吉神社



神功皇后が三韓征伐の際、航路がわからず、住吉に「一条の航路を示してください」と祈ると航路が明るく浮かび上がったという伝説がある。四基の鳥居のうち一基は海中に立つ。十三世紀後期の元寇の際に、暴風雨に見舞われた蒙古軍が海に捨てていったと言われる市の重要文化財「蒙古破石」もここにあり、毎年八月には祇園祭が行われる。



社 長	執行役	安全管理	運航管理	店 長
	正小 徳松			

受付・検認

唐津を元気に!
読者参加型情報誌〈アン・サイン〉

18.7.23

唐津汽船

An Saine

VOL.1
2018.7.8

創刊号

FREE

唐津の街に
参加型情報誌「あんさいね」
光る夏到来

創刊

CONTENTS

唐津の知られざる歴史探訪
神功皇后の伝説 神集島

勝手に街おこしプロジェクト
名護屋帯を復活させよう

新進気鋭の唐津焼窯元
—— 赤水窯 ——

新・唐津名物をつくろう
ととかつサンド

ミシュラン? いいえ
見しらんショップ

An Saine

「あのねー!、えーと!」を唐津では「!あんさいね!」という方言と、この1年健康な年でありたいと願うフランス語との造語。